

# 令和3年度 育生小学校 学校経営改革方針

## I 現状と課題

- ① 素直で明るく、作業や活動に意欲的に取り組む児童が多い。特に高学年では、児童会役員を中心に、委員会活動や学校行事をとおして、自主性や創造性を発揮している。
- ② 学習面においては、多くの児童は落ち着いて授業に取り組めるようになってきている。今後は、「わかる喜び、できる楽しさを感じられる授業づくり」を研究主題に、基礎学力の定着に向けた授業力の向上を図っていく。生活面では、基本的な生活習慣の定着に向けた積極的な生徒指導、児童一人ひとりを大切にしたいきめ細かな個別支援の実践などが必要である。
- ③ 地域や保護者の方は学校に協力的で、学校は「育っ子応援隊」に代表される多くのボランティア支援を受けている。児童のよりよい成長に向けて、地域や家庭との連携をさらに進めていく必要がある。(学校運営協議会制度の導入)
- ④ 教職員は様々な課題に対して、児童理解や特別支援教育、人権教育などをこれまで以上に推進し、継続的にチームとして取り組んでいく必要がある。

## II 学校経営の基本方針

- |  |
|--|
| ◎めざす学校像……子どもたちの笑顔あふれる、明るい学校<br>子どもたちが安心して過ごせる、安全な学校<br>地域・保護者に信頼される、開かれた学校                   |
| ◎めざす子ども像… 自ら学ぶ子<br>心豊かで友だちを大切にする子<br>健康でたくましい体をもつ子   |
| ◎めざす教職員像… 子どもとともに学び、高め合う教職員<br>児童・保護者・地域から信頼される教職員<br>組織の一員としての自覚を持ち、チームで協働して<br>課題解決に努める教職員 |

## III 学校教育目標

自ら学び 心豊かな 健康でたくましい子の育成
------------------------

## IV 重点目標

- (1) 授業改善を通して基礎学力の定着、自主的学習者の育成
- (2) 自分も仲間も大切にする教育の推進
- (3) 基本的な生活習慣・家庭学習習慣の確立と積極的な生徒指導の推進
- (4) 安全教育の充実と危機管理の徹底
- (5) 教職員が働きやすい環境の整備
- (6) 学校運営協議会を活用した地域とともにある学校づくりの推進

## V 具体的な行動計画

- ① 学習規律を徹底し、学習習慣を身につけさせる。算数科では、習熟度別少人数やT・T指導を実施する。他教科でも、T・T指導を有効活用する。高学年では一部教科担任制を導入する。
- ② 児童が「わかる喜び、できる楽しさ」を感じられる授業づくりを進め、授業改善を通して基礎学力の定着、自主的学習者の育成を図る。また、生きていく上で大切な力となる「自分の思いを言葉で伝える」活動の研究を進める。
- ③ 様々な人との出会いをとおして、互いを尊重し合い、自らの感情を適切に表現するなどのよりよい人間関係を築く力をつける。また、さまざまな人権課題について正しい理解と認識を持ち、自分も仲間も大切にすると人権教育・道徳教育を進める。
- ④ 児童理解を進め、絆づくりを進められる機会や場の設定を図る。自己存在感や自己有用感を高め、自己決定の機会や場を設定し、自ら決めたことを行動する力（自己指導能力）を育成する。そのために、異年齢集団を活かした活動を意識的に設定する。また、児童と向き合う時間を大切に、スクールカウンセラーと連携しながら教育相談を進める。
- ⑤ 「育っ子憲章」を軸にして、保護者・地域と連携し、基本的な生活習慣の確立を図る。また、家庭学習の定着・充実に向けた取組を推進するために「家庭学習のススメ」を発行し、学習習慣の確立を進める。
- ⑥ 特別支援教育の推進のために、教員が児童一人ひとりの違いを理解し、多様な教育的ニーズに対応できるよう、指導力の向上をめざす。そのために、校内支援委員会を定期的に開催し、個に応じた指導体制の整備と情報の共有の充実を図る。
- ⑦ 危機管理マニュアルや地域安全マップを基にした安全対策指導や避難訓練を実施する。
- ⑧ 教職員の総勤務時間の縮減の取組として、一人1台パソコンを有効活用し、会議時間の短縮を図る。また、研修日を定時退校日として設定し定時退校率80%以上、月間45時間超の時間外労働者数前年度比半減、一人当たりの年間休暇取得日数前年度比2日増をめざす。
- ⑨ 学校運営協議会を発足し、保護者・地域住民等が学校運営や教育活動に参画する仕組みを作り、子どもたちの学びや体験の充実を図る。

## VI その他

本校では、月に1度、4部会（学力向上部会・人権教育部会・特別支援教育部会・生徒指導部会）を開催します。そこでは、それぞれのテーマに沿って話し合いを進め、行動計画や指導内容についての協議・確認を行います。その内容を確実に学年部会で還流し、共通認識のもと全職員で共通した指導を推進します。